

# キャリア開発ラダー

「ラダー」と「目標管理シート」が1枚になりました。

ラダー レベル I				
到達目標	1. 指導を受けながら基本的技術・態度を身につけ、診療の補助及び療養上の世話を安全・確実に実践する。 2. 指導を受けながら所属部署における看護過程が展開され、個別ケアを実践する。 3. チームメンバーの役割を述べる。 4. 必要な院内(外)の看護研修を選択し、積極的に参加する。 5. 社会情勢の変化をひとつでも言える。 6. 看護研究発表会や学会参加の機会を求める。			
A(特に良い) B(良い) C(努力を要する) D(非常に努力を要する)				
項目	行動目標	年度初め	年度末	
		本人	師長	本人 師長
看護実践	①患者の安全を意識して行動する。 ②アセスメントから看護上の問題・方針を明確に導き出す。 ③看護過程を用いて個別的な看護ケアを患者に提供する。 ④自分の行った看護実践に対して責任をもつ。 ⑤患者急変時に適切に対応する。			
管理	①部署の目的・目標を知り、その達成のための活動に参加する。 ②部署の特性と業務内容について説明する。 ③部署の環境・物品について気づいたことを報告する。 ④チームメンバーとしての役割を発揮する。 ⑤全ての看護業務活動における経済的側面に注意を払う。 ⑥災害対策(通報・患者誘導・非常持ち出し品・火元点検・初期消火)について説明する。			
教育	①自己の学習ニーズを明確にし、学習目標・計画を設定し、実践する。 ②患者ケアに関わる体験を同僚と共有する。 ③院内及び院外の看護研修に参加する。 ④学生の実習に協力する。			
研究	①看護研究会へ関心を持つ。 ②社会情勢の変化をひとつでも言える。			
全17項目中: A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> 目標に挙げよう!				
年度初めに記入		《レベル達成のための実践目標》		師長サイン
年度末に記入		《レベル達成のための実践評価》		師長サイン
《学習方略》				
・院内・院外の看護研修や、勉強会に参加する。 ・疾患について自己学習する。 ・看護基準・標準看護計画・看護手順を活用する。 ・厚労省の技術チェックリストを参照し、自己の評価を行う。 ・部署担当看護師として学生指導する為に学生担当看護師の指導を積極的に求める。 ・自己の看護展開に対する評価を行う。				
<b>ラダー レベル I 取得の為の必須条件</b> ☆ ラダー I の評価が自己・他者共に全て B 以上であること ☆ 新入職員看護技術チェックリスト(厚労省)の項目が A 評価であること ※自己評価で良い ☆ ラダー I 認定学習項目が全て学習済みであること				

  

目標管理シート		
目標区分:	キャリア開発ラダーの項目以外で、各自取り組みたい課題や将来展望により設定。	
目標(到達すべきゴール)	水準(どのくらい、どのレベルで) *できるだけ数値目標として表わすように	期間(いつまでに) *最長1年
手段・方法(具体的行動計画)	SMARTの原則は、「Specific(具体的であること)」、「Measurable(測定可能であること)」、「Achievable(達成可能であること)」、「Relevant(関連性があり妥当であること)」、「Time(期日が明確であること)」 *タイムスケジュールがある場合は記載する。	
評価	達成・未達成を明確に記入。また、評価の根拠を具体的に記入すること。	
所属部署:	氏名( )	
年度初め 提出日	年	月 日
年度末 提出日	年	月 日

専従の人には「専従用ラダー」があります。専従用はラダーⅡからのスタートです。



個人面談では、この用紙の他に「ラダー別学習項目」と「社会人基礎力評価表」を使います。